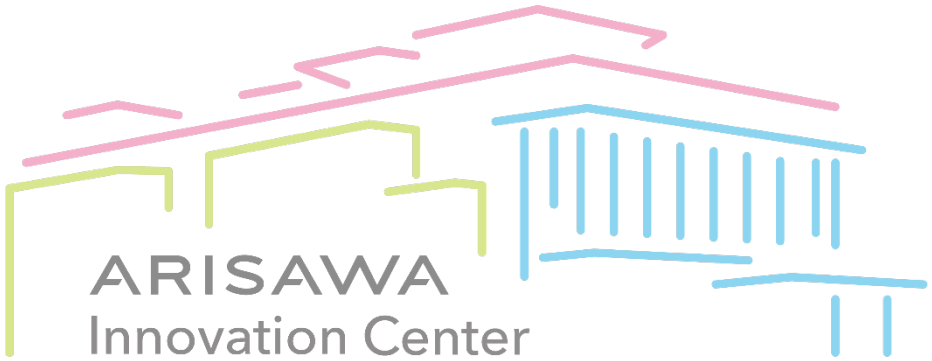
証券コード 5208

https://www.arisawa.co.jp

2027年3月期 第2四半期
連結決算の概要



2026/11/5

株式会社 有沢製作所

目次

■ 2027年3月期 第2四半期 連結決算

2027年3月期 上期 連結決算 …… 3
損益計算書 …… 4
貸借対照表 …… 5
2027年3月期 上期の前年同期比増減分析 …… 6
2027年3月期 上期の8月6日予想との増減分析 … 7
2027年3月期 上期の概況 …… 8

□ 2027年3月期 業績予想

通期連結予想 …… 12
通期連結予想(前期比･8月6日予想との比較) …… 13
ROE･ROICの推移 …… 15
配当金･総還元性向の推移 …… 16

□ 参考資料 …… 18

2027年3月期 上期 連結決算

(百万円)	26/3期 上期 実績	27/3期 上期 8/6予想	27/3期 上期 実績	前年 同期比	8/6 予想比
売上高	**26,537**	**32,900**	**32,920**	+24.1%	+0.1%
営業利益	**2,454**	**3,100**	**3,374**	+37.5%	+8.8%
営業利益率	9.3%	9.4%	10.2%		
経常利益	**2,154**	**3,300**	**3,399**	+57.8%	+3.0%
純利益	**1,562**	**2,200**	**2,313**	+48.1%	+5.2%
一株利益(円)	**47.00**	**67.12** *	**70.55**	+50.1%	+5.1%
配当金(円)	**44.00**	**55.00**	**55.00**	--	--
為替レート (円／$) 平均	148.40	158.29	158.29	--	--
期末	148.88	158.00	157.35		

＊6月30日現在の発行済株式数で試算

■ **前年同期比**

売上高　：電子材料をはじめ、各セグメントで増加し、63億82百万円(前年同期比24.1%)の増収。

営業利益：売上高の増加とそれに伴う操業度の向上により、9億19百万円(同37.5%)の増益。

経常利益：営業利益の増加と為替差益により、12億45百万円(同57.8%)の増益。

純利益　：7億51百万円(同48.1%)の増益。

■ **8/6予想比**

売上高　：全体としては予想並みの着地で、20百万円(予想比0.1%)の増収。

営業利益：産業用構造材料の利益率向上により、同8.8%の増益。

経常利益：同3.0%の増益

純利益　：同5.2%の増益。

損益計算書

（百万円）	26/3期 上期実績	27/3期 上期予想 （8/6）	27/3期 上期実績	前年 同期比 増減	
売上高	**26,537**	**32,900**	**32,920**	+6,382	電子材料をはじめ、各セグメントで増収
売上総利益 販売費及び一般管理費	6,025（22.7%） 3,570		7,994（24.3%） 4,619		操業度の向上 運賃・梱包費、人件費の増加
営業利益	**2,454**（9.3%）	**3,100**（9.4%）	**3,374**（10.2%）	+919	増収、操業度の向上
為替差損益 その他営業外損益	-339 39		+81 -56		前年度は台湾ドルの影響により差損 支払利息の増加
経常利益	**2,154**（8.1%）	**3,300**（10.0%）	**3,399**（10.3%）	+1,245	営業利益の増加、為替差益による
有価証券売却益 その他特別損益	70 -6		0 -13		
税引前利益	**2,218**	**3,300**	**3,386**		
法人税等他	656		1,073		
親会社に帰属する中間純利益	**1,562**（5.9%）	**2,200**（6.7%）	**2,313**（7.0%）	+751	

※（ ）内は利益率を表す。

貸借対照表

（百万円）	26/3	26/9	増減	
資産の部				
流動資産	54,001	59,951	+5,949	現金預金　+1,703、売掛債権 +2,085、棚卸資産 +2,444
有形固定資産、無形固定資産	23,948	25,593	+1,645	設備投資等
投資有価証券	1,929	2,105	+175	
その他の資産	1,158	1,093	△65	
資産合計	**81,039**	**88,745**	+7,705	
負債の部				
流動負債	26,645	29,714	+3,069	買掛債務 +1,901
固定負債	3,705	7,721	+4,015	長期借入金　+4,056
負債合計	30,351	37,436	+7,084	
株主資本	45,186	45,025	△160	利益剰余金　△247
その他包括利益合計、新株予約権	5,501	6,283	+782	為替換算調整勘定　+667
負債純資産合計	**81,039**	**88,745**	+7,705	

2027年3月期 上期の前年同期比増減分析

（百万円）	売上高 26/3期 上期実績	売上高 27/3期 上期実績	売上高 増減	セグメント利益 26/3期 上期実績	セグメント利益 27/3期 上期実績	セグメント利益 増減
電子材料	**17,217**	**21,593**	+4,375	**1,685**	**2,697**	+1,011
FPC用材料（有沢製作所）	9,719	10,880	+1,161			
FPC用材料（ThinFlex）	5,286	7,917	+2,631			
ICGC、プリプレグ	1,308	1,718	+410			
プリント配線板（サトーセン）	904	1,078	+174			
産業用構造材料	**6,081**	**7,585**	+1,503	**1,218**	**991**	△226
ハニカムパネル	999	1,576	+577			
水処理用FRP製圧力容器	3,825	4,250	+425			
その他	1,257	1,759	+502			
電気絶縁材料	**1,265**	**1,374**	+109	**92**	**153**	+60
ディスプレイ材料	**1,804**	**2,189**	+384	**324**	**525**	+200
関連商品・その他	**168**	**178**	+9	**120**	**146**	+25
合計	**26,537**	**32,920**	+6,382	**3,441**	**4,513**	+1,072
			全社費用	-987	-1,139	
			営業利益	**2,454**	**3,374**	+919

- 売上高：電子材料をはじめ、各セグメントで増加し、前年同期比63億82百万円（24.1%）の増収。
  - 電子材料は、スマートフォンおよび半導体向けが好調に推移し、同25.4%の増収。
  - 産業用構造材料は、主に航空機内装材が好調に推移し、同24.7%の増収。
  - ディスプレイ材料は、3D関連材料が好調に推移し、同21.3%の増収。
- 営業利益：売上高の増加とそれに伴う操業度の向上により、同37.5%の増益。
  - 内容の詳細については、8～10ページに記載。

2027年3月期 上期の8月6日予想との増減分析

（百万円）	売上高 27/3期 上期 8/6予想	売上高 27/3期 上期実績	売上高 増減	セグメント利益 27/3期 上期 8/6予想	セグメント利益 27/3期 上期実績	セグメント利益 増減
電子材料	**21,900**	**21,593**	△307	**2,800**	**2,697**	△103
FPC用材料（有沢製作所）	11,100	10,880	△220			
FPC用材料（ThinFlex）	8,000	7,917	△83			
ICGC、プリプレグ	1,700	1,718	+18			
プリント配線板（サトーセン）	1,100	1,078	△22			
産業用構造材料	**7,400**	**7,585**	+185	**800**	**991**	+191
ハニカムパネル	1,600	1,576	△24			
水処理用FRP製圧力容器	4,200	4,250	+50			
その他	1,600	1,759	+159			
電気絶縁材料	**1,250**	**1,374**	+124	**150**	**153**	+3
ディスプレイ材料	**2,200**	**2,189**	△11	**550**	**525**	△25
関連商品・その他	**150**	**178**	+28	**100**	**146**	+46
合計	**32,900**	**32,920**	+20	**4,400**	**4,513**	+113
			全社費用	-1,300	-1,139	
			営業利益	**3,100**	**3,374**	+274

■ 売上高：電子材料が予想を下回ったが、産業用構造材料、電気絶縁材料が予想を上回り、全体としてはほぼ予想並み。

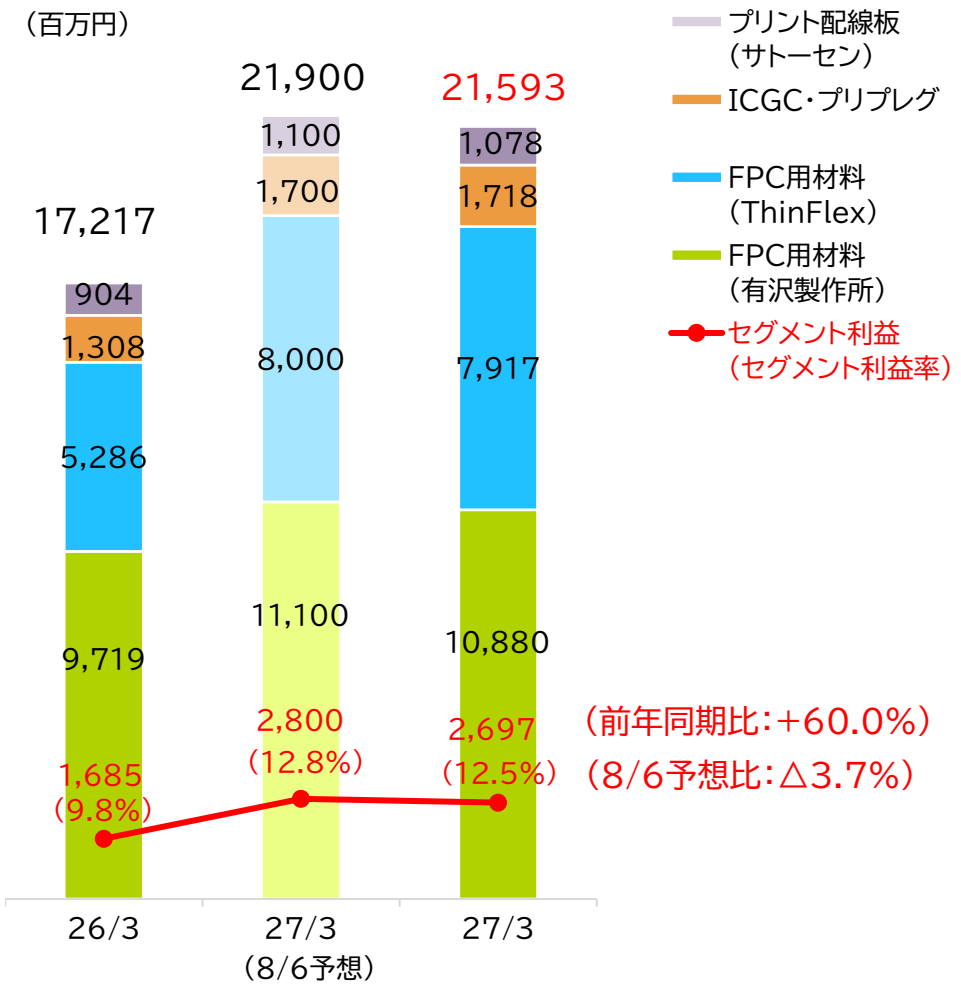
- 電子材料は、スマートフォン向けが予想を下回った。
- 産業用構造材料は、試作等が予想を上回った。
- ディスプレイ材料は、予想並み。

■ 営業利益：産業用構造材料の利益率向上により、予想比8.8%の増益。

- 内容の詳細については、8～10ページに記載。

2027年3月期 上期の概況 ‥ 電子材料

電子材料 売上高



市場

- スマートフォンおよび半導体（PC、AIサーバー向けなど）の需要が好調に推移している。

業績 ‥前年同期比

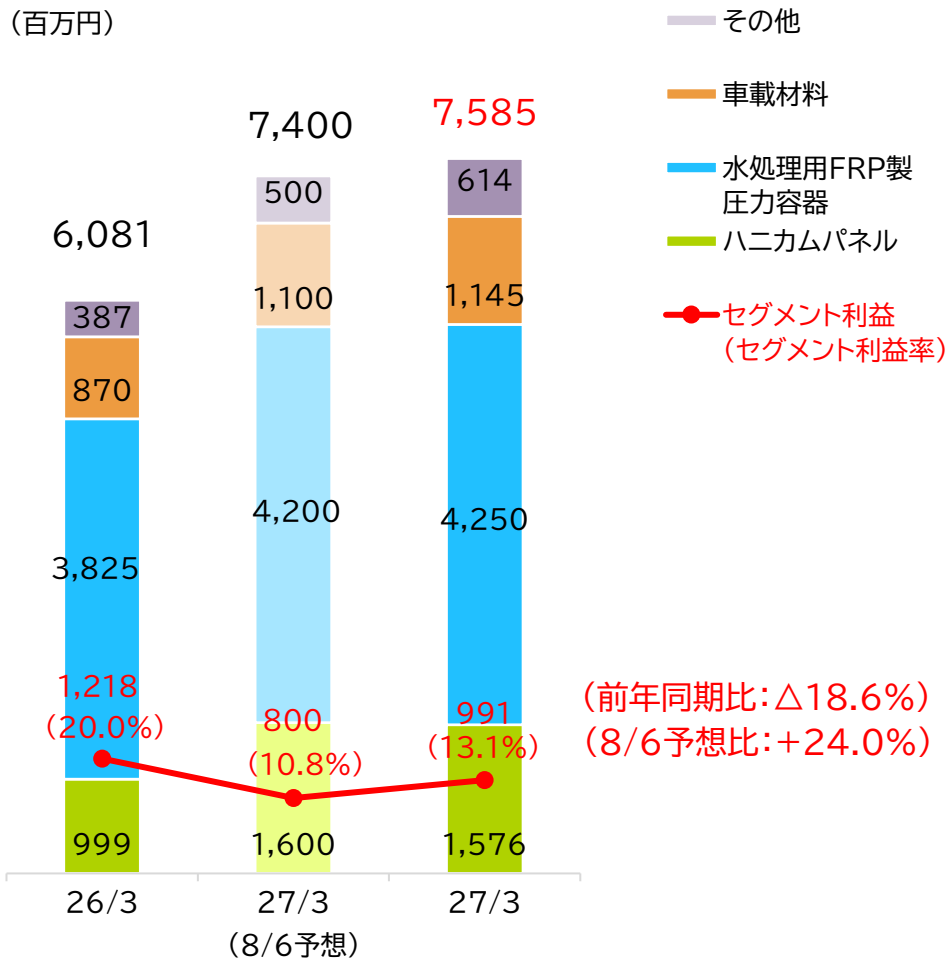
- FPC用材料、ICGC・プリプレグ、プリント配線板が増加し、43億75百万円（前年同期比25.4%）の増収。
  - FPC用材料（有沢製作所）は、スマートフォンおよび半導体向けが強く、同11.9%の増収。
  - FPC用材料（ThinFlex）は、中華系スマートフォン向け等が伸び、同49.8%の増収。
  - ICGC・プリプレグは、同31.4%の増収。
  - プリント配線板は、同19.1%の増収。
- 売上高の増加により、セグメント利益は10億11百万円（同60.0%）の増益。

業績 ‥8/6予想比

- FPC用材料（スマートフォン向け）が予想を下回り、3億7百万円（予想比1.4%）の減収。
- セグメント利益は売上高の減少により、1億3百万円（同3.7%）の減益。

2027年3月期 上期の概況 ‥産業用構造材料

産業用構造材料 売上高



市場

- 世界的な水需要の増加により飲料水・工場用水などの水処理用材料が堅調に推移している。
- 航空需要は堅調に推移している。

業績 ‥前年同期比

- 航空機内装用ハニカムパネル、水処理用FRP製圧力容器が好調に推移したこと等により、15億3百万円（前年同期比24.7%）の増収。
  - ハニカムパネルは同57.8%増収。
  - 水処理用FRP製圧力容器は同11.1%増収。
  - 車載材料は同31.6%増収。
- セグメント利益は品種構成の変化等により、2億26百万円（同18.6%）の減益。

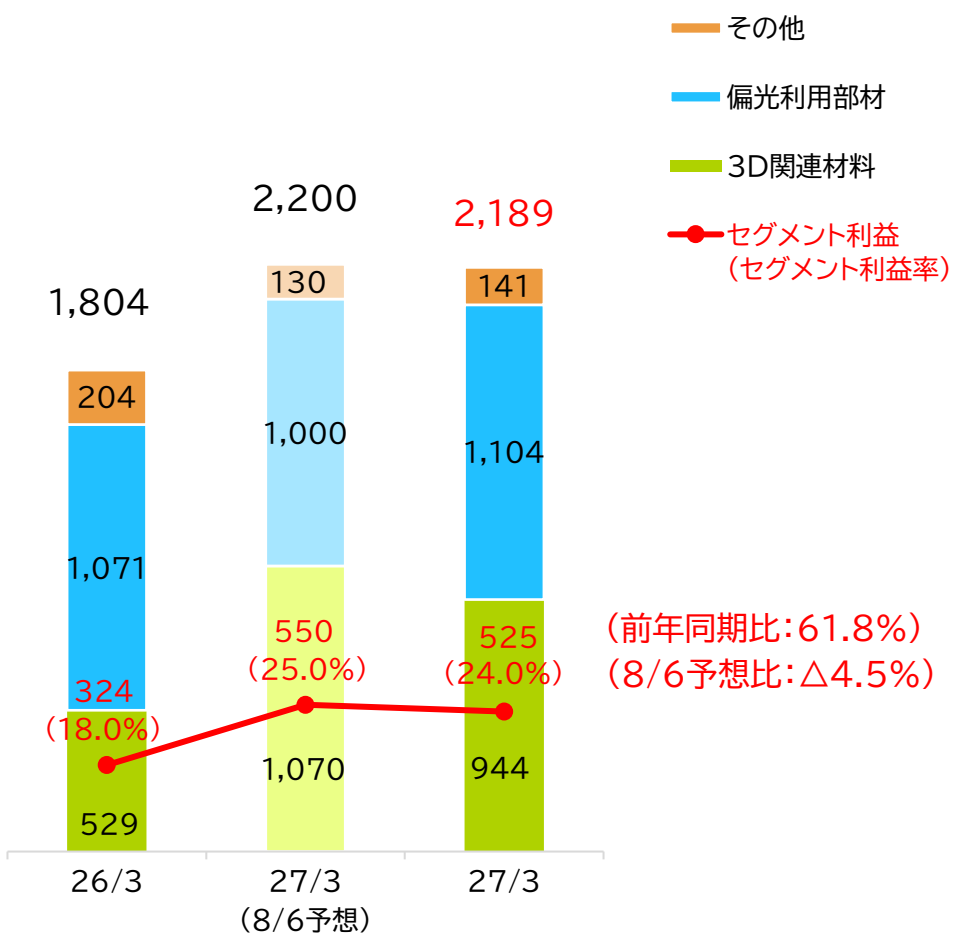
業績 ‥8/6予想比

- 売上高は、試作等が予想を上回った。
- セグメント利益は、利益率向上により、予想比1億91百万円（同24.0%）の増益。

2027年3月期 上期の概況 ‥ディスプレイ材料

ディスプレイ材料 売上高

（百万円）



市場

- 3D関連材料は、2026年3月期上期が在庫調整局面であったが、2026年3月期下期より復調傾向で推移している。

業績 ‥前年同期比

- 3D関連材料の売上が増加し、3億84百万円（前年同期比21.3%）の増収。

  ・3D関連材料は、同78.3%増収。
  ・偏光利用部材は、同3.1%増収。

- 増収、品種構成の変化により、セグメント利益は2億円（同61.8%）の増益。

業績 ‥8/6予想比

- 全体としては、売上、利益ともほぼ予想並み。

目次

□ 2027年3月期 第2四半期 連結決算

2027年3月期 上期 連結決算 …… 3
損益計算書 …… 4
貸借対照表 …… 5
2027年3月期 上期の前年同期比増減分析 …… 6
2027年3月期 上期の8月6日予想との増減分析 … 7
2027年3月期 上期の概況 …… 8

■ 2027年3月期 業績予想

通期連結予想 …… 12
通期連結予想(前期比・8月6日予想との比較) …… 13
ROE・ROICの推移 …… 15
配当金・総還元性向の推移 …… 16

□ 参考資料 …… 18

2027年3月期 通期 連結予想

（百万円）	26/3期 通期 実績	27/3期 通期 8/6予想	27/3期 通期 11/5予想	前期比	8/6 予想比
売上高	**56,474**	**64,200**	**64,200**	+13.7%	±0.0%
営業利益	**5,805**	**6,500**	**6,500**	+12.0%	±0.0%
営業利益率	10.3%	10.1%	10.1%		
経常利益	**6,157**	**6,400**	**6,400**	+3.9%	±0.0%
純利益	**4,995**	**4,500**	**4,500**	△9.9%	±0.0%
一株利益(円)	**150.57**	**137.29***	**137.10****	△8.8%	△0.1%
配当金(円)	合計 **122.00**	合計**110.00**	合計**110.00**	--	--
為替レート（円／$） 平均	149.61	156.32	158.00	--	--
期末	159.88	155.00	150.00		

＊ 6月30日現在の発行済株式数で試算
＊＊ 9月30日現在の発行済株式数で試算

■ **前期比**

売上高　：電子材料を筆頭に増加し、前期比77億26百万円(13.7%)の増収と予想する。
営業利益　：売上高の増加により同6億95百万円(12.0%)の増益と予想する。
経常利益　：支払利息の増加、為替差損により、同3.9%の増益にとどまる。
当期純利益：前期に計上した負ののれん、助成金の減により、同9.9%の減益。

■ **8/6予想比**

売上高　：全体では8/6予想を修正しないが、電子材料を上方修正し、産業用構造材料、ディスプレイ材料を下方修正する。
営業利益　：8/6予想並みを見込む。
経常利益　：8/6予想並みを見込む。
当期純利益：8/6予想並みを見込む。

- 内容の詳細については、13、14ページに記載。

2027年3月期 通期予想の前期比増減分析

（百万円）	売上高 26/3期 実績	売上高 27/3期 11/5予想	売上高 増減	セグメント利益 26/3期 実績	セグメント利益 27/3期 11/5予想	セグメント利益 増減
電子材料	**35,882**	**43,000**	+7,118	**3,558**	**5,600**	+2,042
FPC用材料（有沢製作所）	19,376	22,600	+3,224			
FPC用材料（ThinFlex）	11,808	14,900	+3,092			
ICGC、プリプレグ	2,776	3,300	+524			
プリント配線板（サトーセン）	1,922	2,200	+278			
産業用構造材料	**13,731**	**14,100**	+369	**2,901**	**1,700**	△1,201
ハニカムパネル	2,508	3,300	+792			
水処理用FRP製圧力容器	8,257	8,000	△257			
その他	2,966	2,800	△166			
電気絶縁材料	**2,546**	**2,400**	△146	**264**	**250**	△14
ディスプレイ材料	**3,973**	**4,400**	+427	**833**	**1,150**	+317
関連商品・その他	**339**	**300**	△39	**233**	**200**	△33
合計	**56,474**	**64,200**	+7,726	**7,792**	**8,900**	+1,108
			全社費用	-1,987	-2,400	
			営業利益	**5,805**	**6,500**	+695

■ **市場予想**

- スマートフォンや半導体向けは好調に推移する。
- ハニカムパネルは、回復基調が続く。
- 3D関連材料の受注は、堅調に推移する。

■ **業績予想（前期比）**

- 売上高は、電子材料、産業用構造材料、ディスプレイ材料の売上増により、77億26百万円（前期比13.7%）の増収を見込む。
- 営業利益は、売上高の増加により6億95百万円（同12.0%）の増益。

2027年3月期 通期予想の8/6予想比増減分析

（百万円）	売上高 27/3期 通期 8/6予想	売上高 27/3期 通期 11/5予想	売上高 増減	セグメント利益 27/3期 通期 8/6予想	セグメント利益 27/3期 通期 11/5予想	セグメント利益 増減
電子材料	**42,700**	**43,000**	+300	**5,500**	**5,600**	+100
FPC用材料（有沢製作所）	22,200	22,600	+400			
FPC用材料（ThinFlex）	14,900	14,900	±0			
ICGC、プリプレグ	3,300	3,300	±0			
プリント配線板（サトーセン）	2,300	2,200	△100			
産業用構造材料	**14,300**	**14,100**	△200	**1,800**	**1,700**	△100
ハニカムパネル	3,200	3,300	+100			
水処理用FRP製圧力容器	8,100	8,000	△100			
その他	3,000	2,800	△200			
電気絶縁材料	**2,400**	**2,400**	±0	**300**	**250**	△50
ディスプレイ材料	**4,500**	**4,400**	△100	**1,200**	**1,150**	△50
関連商品・その他	**300**	**300**	±0	**200**	**200**	±0
合計	**64,200**	**64,200**	±0	**9,000**	**8,900**	△100
			全社費用	-2,500	-2,400	
			営業利益	**6,500**	**6,500**	±0

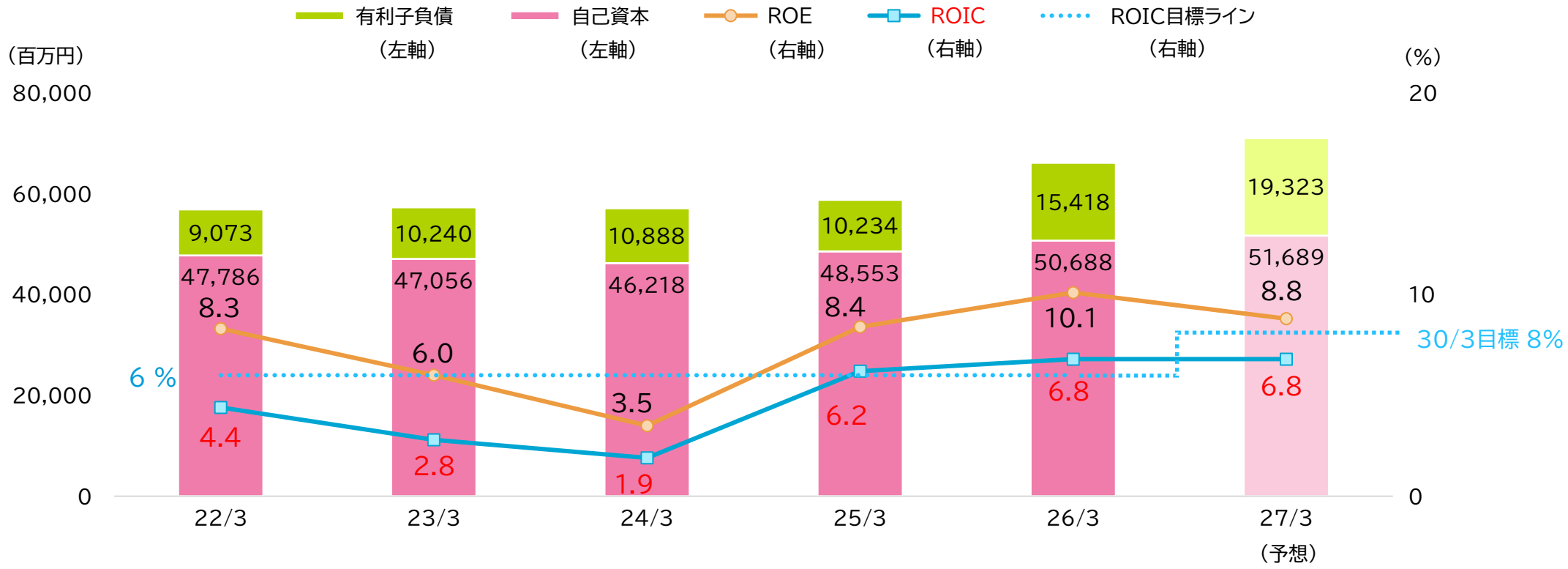
■ **業績予想（予想比）**

- 電子材料は堅調に推移する見通しである一方、産業用構造材料、ディスプレイ材料は下方修正。
- 売上高、営業利益は、全体では8/6予想並みを見込む。
- 上期実績および下期見通しの変化を踏まえ、各セグメントの業績予想の見直しを実施。

ROE・ROICの推移

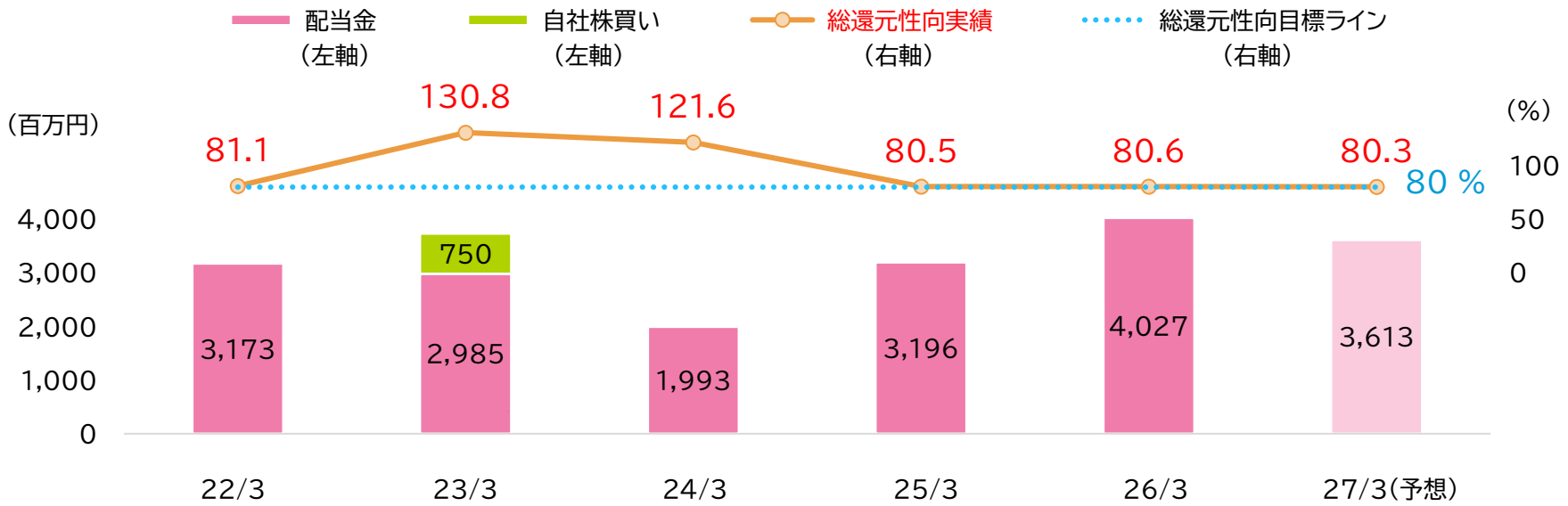
ROE= 当期純利益 ／ 自己資本

ROIC= 税引き後営業利益 ／（自己資本＋有利子負債）



- 27年3月期のROICは、6.8%を見込む。

配当金・総還元性向の推移



	22/3	23/3	24/3	25/3	26/3	27/3(予想)
株価(円/株) *	957	1,254	1,137	1,384	2,267	–
年間配当金(円/株)	95	90	60	96	122	合計 110
配当利回り(%)	9.9	7.2	5.3	6.9	5.4	–

＊各年度末の終値

株主還元方針

- 安定性を志向した指標である「株主資本配当率(DOE)6%」と「総還元性向 80%以上」のいずれか高い方を株主還元とする。
  (適用期間:自己資本比率 50%程度を達成できる時期まで)

目次

□ 2027年3月期 第2四半期 連結決算

2027年3月期 上期 連結決算 …… 3
損益計算書 …… 4
貸借対照表 …… 5
2027年3月期 上期の前年同期比増減分析 …… 6
2027年3月期 上期の8月6日予想との増減分析 … 7
2027年3月期 上期の概況 …… 8

□ 2027年3月期 業績予想

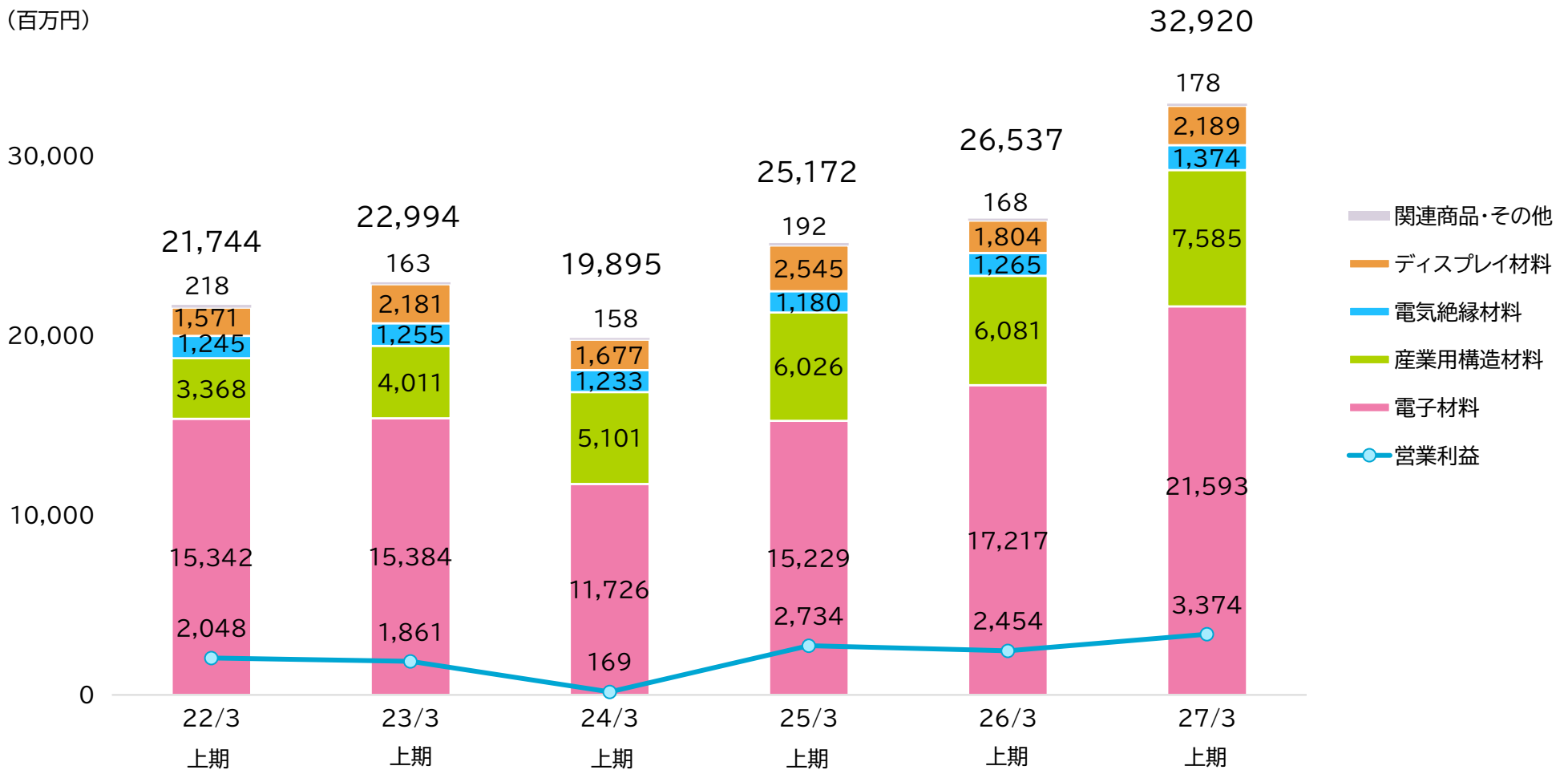
通期連結予想 …… 12
通期連結予想(前期比･8月6日予想との比較) …… 13
ROE･ROICの推移 …… 15
配当金･総還元性向の推移 …… 16

■ 参考資料 …… 18

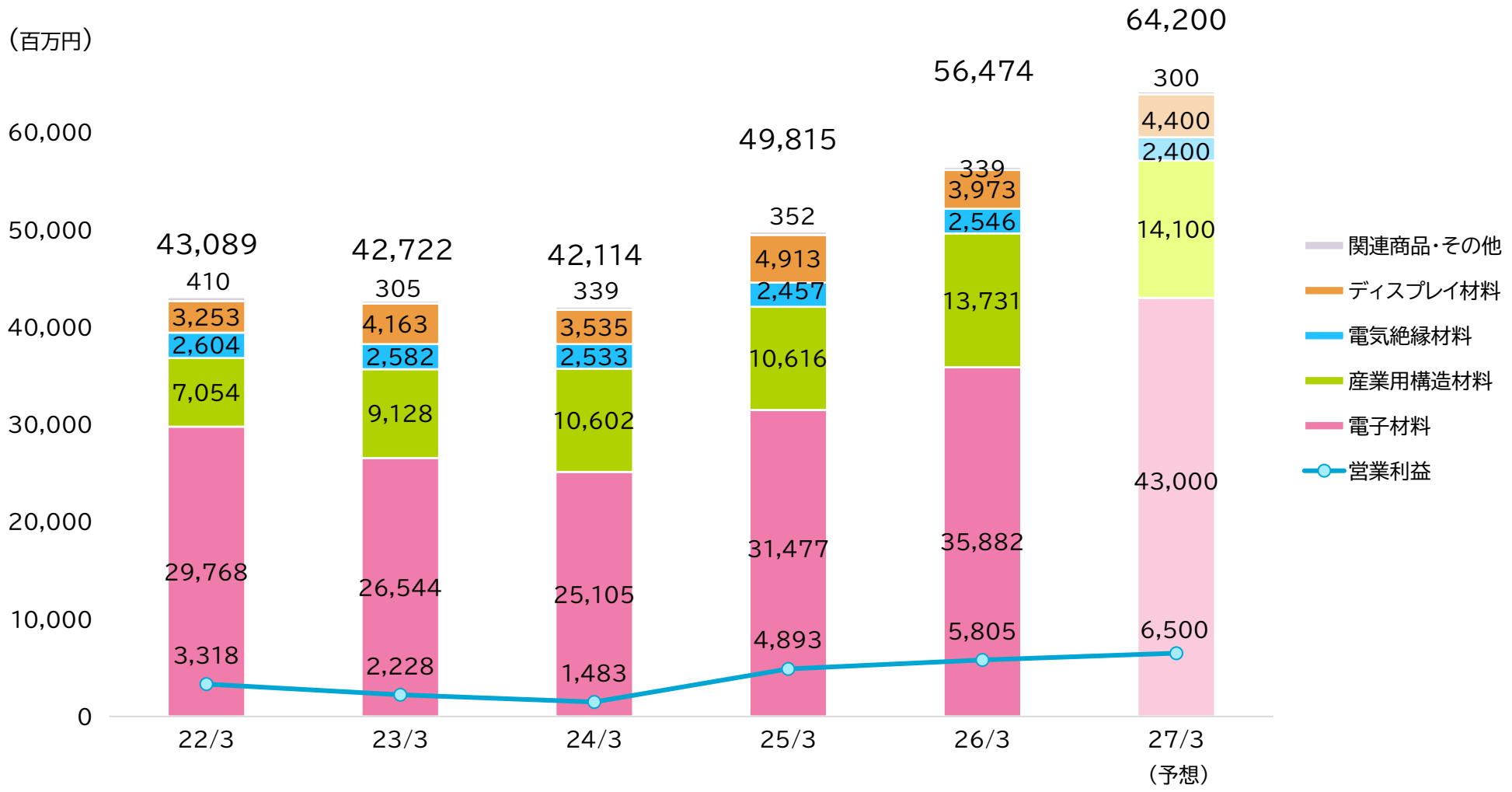
会社別 上期業績(前年同期比・予想比)

(百万円)	売上高					営業利益				
	26/3期 上期 実績	27/3期 上期 8/6予想	27/3期 上期 実績	増減 対前年同期	増減 対予想	26/3期 上期 実績	27/3期 上期 8/6予想	27/3期 上期 実績	増減 対前年同期	増減 対予想
単体										
有沢製作所	16,568	20,100	20,189	+3,621	+89	1,342	2,170	2,270	+928	+100
連結会社										
シンフレックス	6,103	8,400	8,413	+2,310	+13	91	330	331	+240	+1
サトーセン	905	1,100	1,078	+173	△22	1	40	35	+34	△5
アリサワファイバーグラス	1,370	1,600	1,617	+247	+17	73	170	175	+102	+5
プロテック	3,710	4,100	4,114	+404	+14	670	140	131	△539	△9
有沢総業	1,017	1,150	1,250	+233	+100	61	90	129	+68	+39
有沢樹脂工業	195	150	165	△30	+15	27	10	3	△24	△7
カラーリンク・ジャパン	1,075	1,000	1,095	+20	+95	127	150	191	+64	+41
(連結消去額)	-4,406	-4,700	-5,001			62		109		
合 計	26,537	32,900	32,920	+6,382	+20	2,454	3,100	3,374	+919	+274

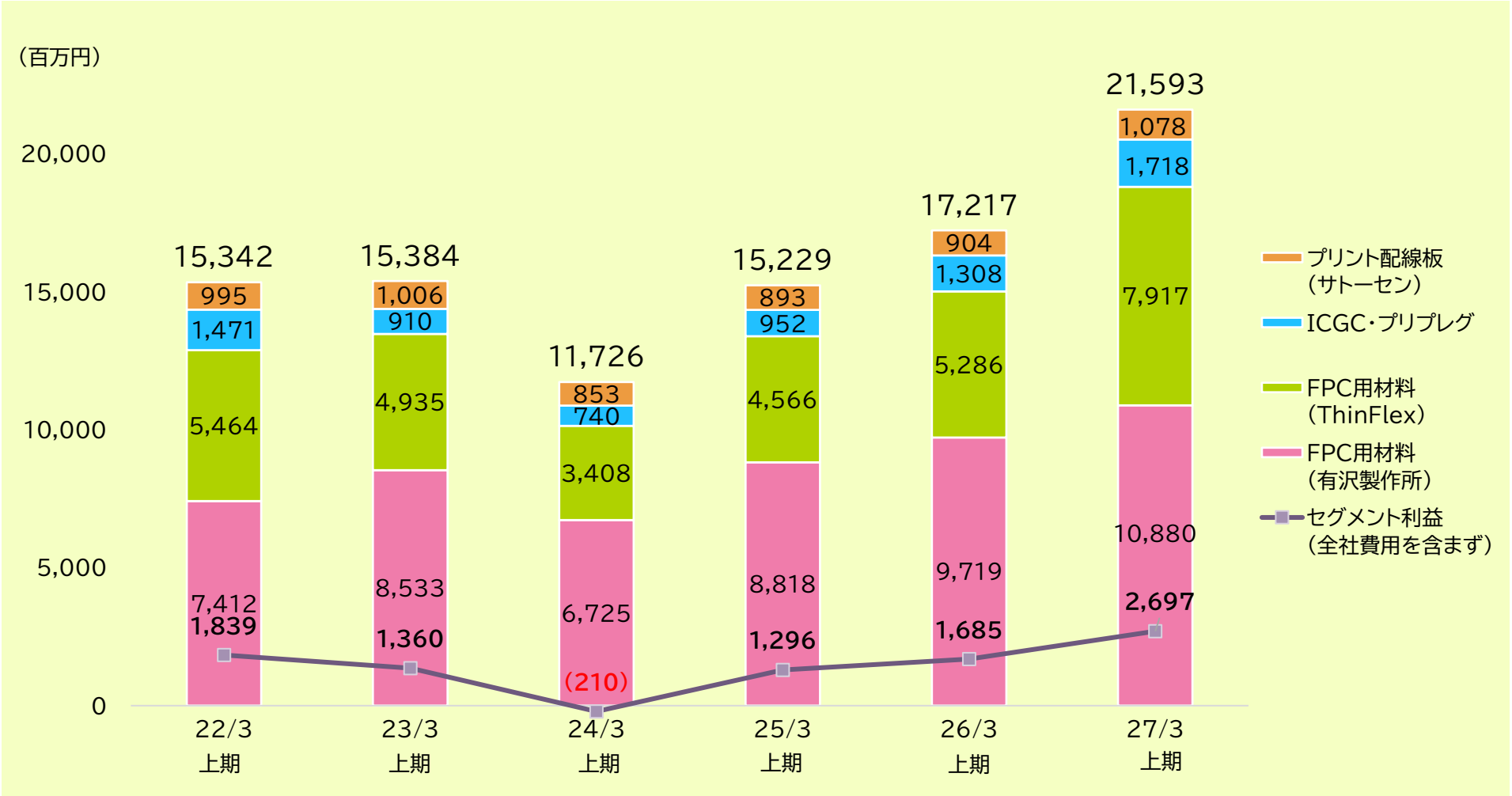
分野別の上期業績推移(売上高・営業利益)



分野別の通期業績推移(売上高・営業利益)

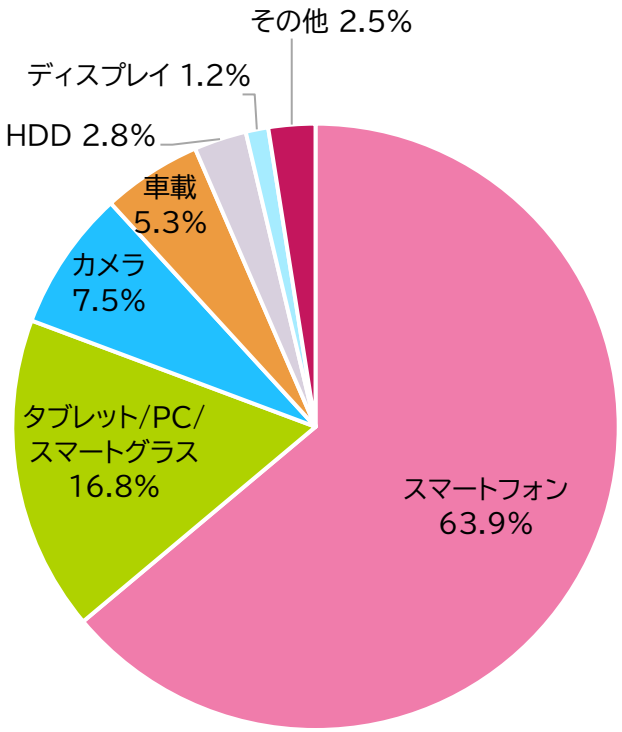


電子材料の上期業績推移

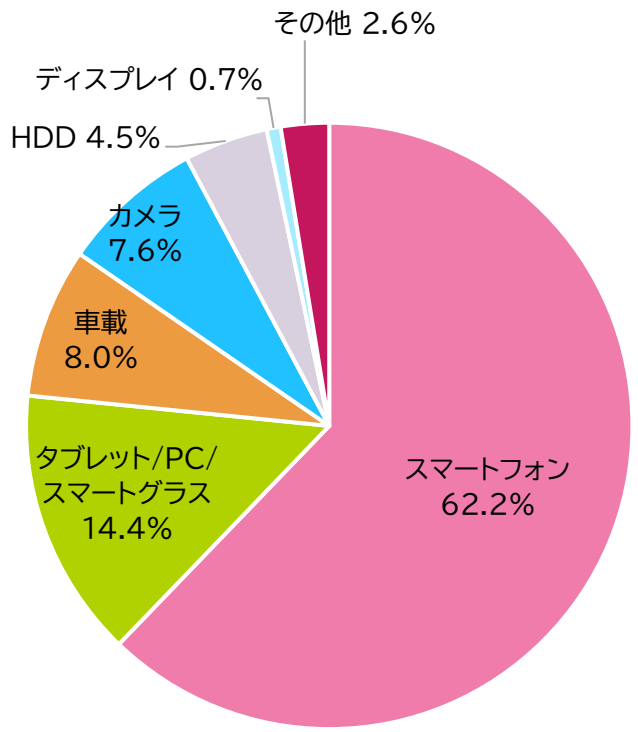


当社製FPC材料の用途

2026年3月期　上期

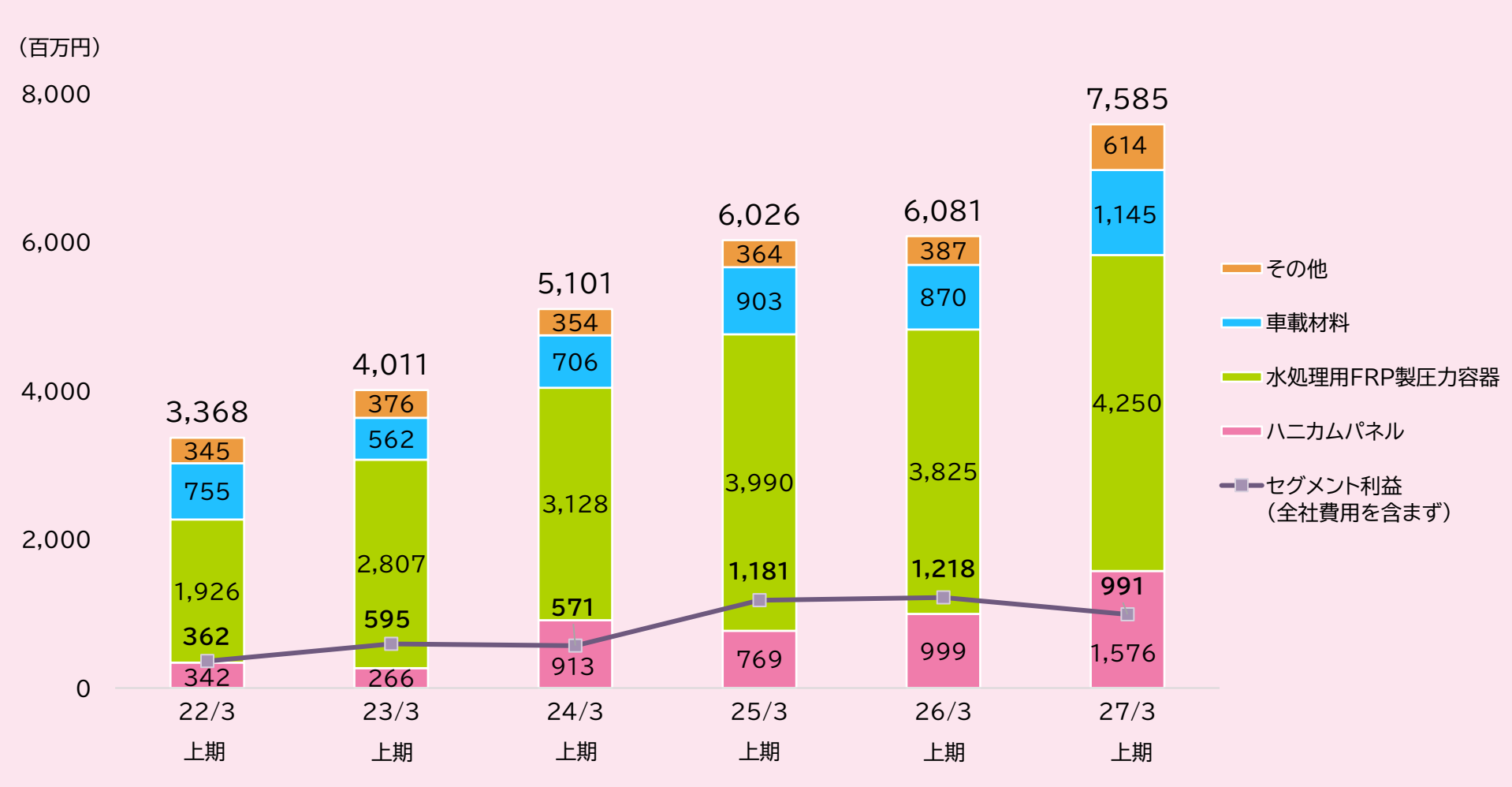


2027年3月期　上期

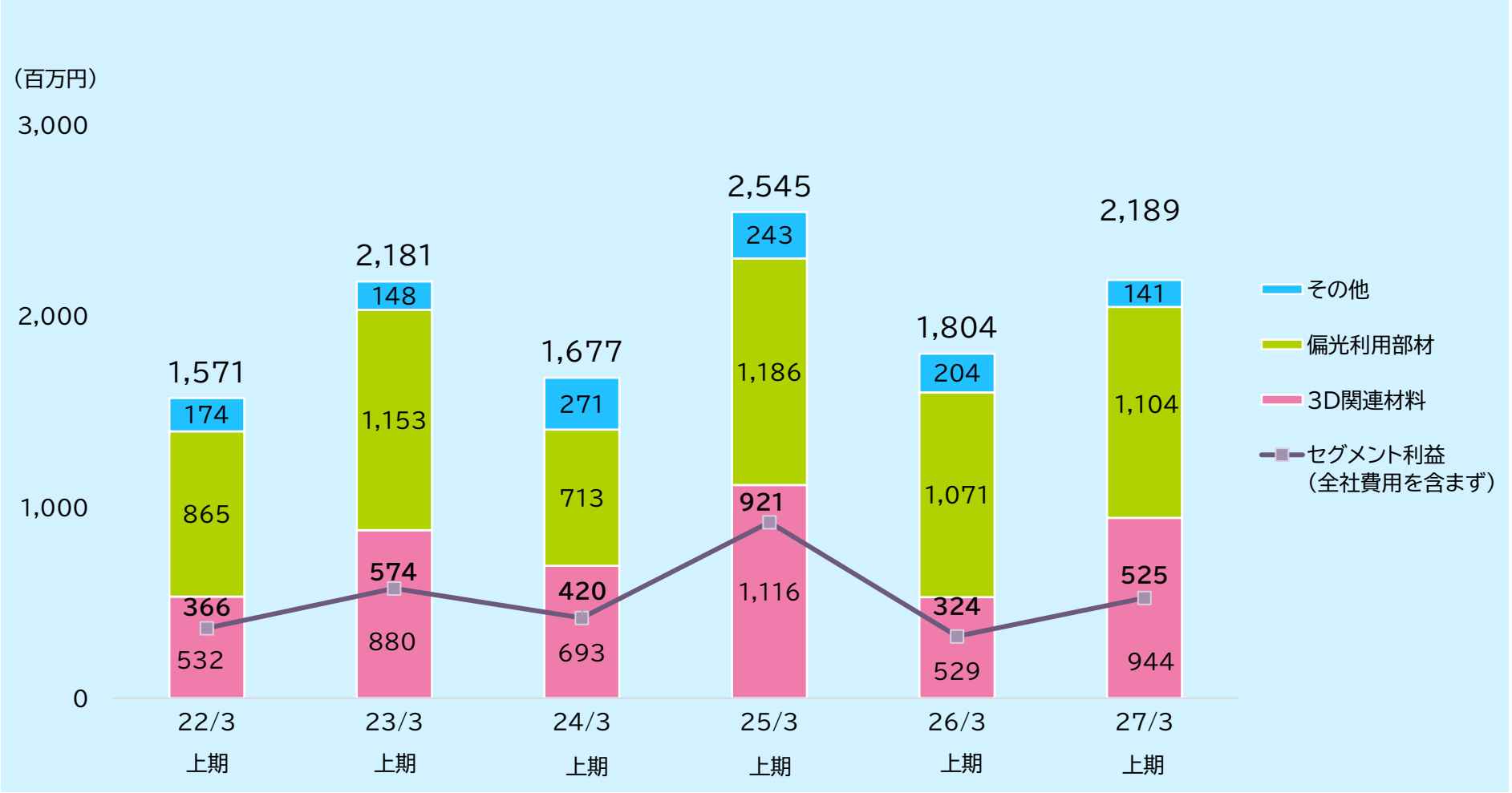


数量ベース
出所：当社推定

産業用構造材料の上期業績推移



ディスプレイ材料の上期業績推移



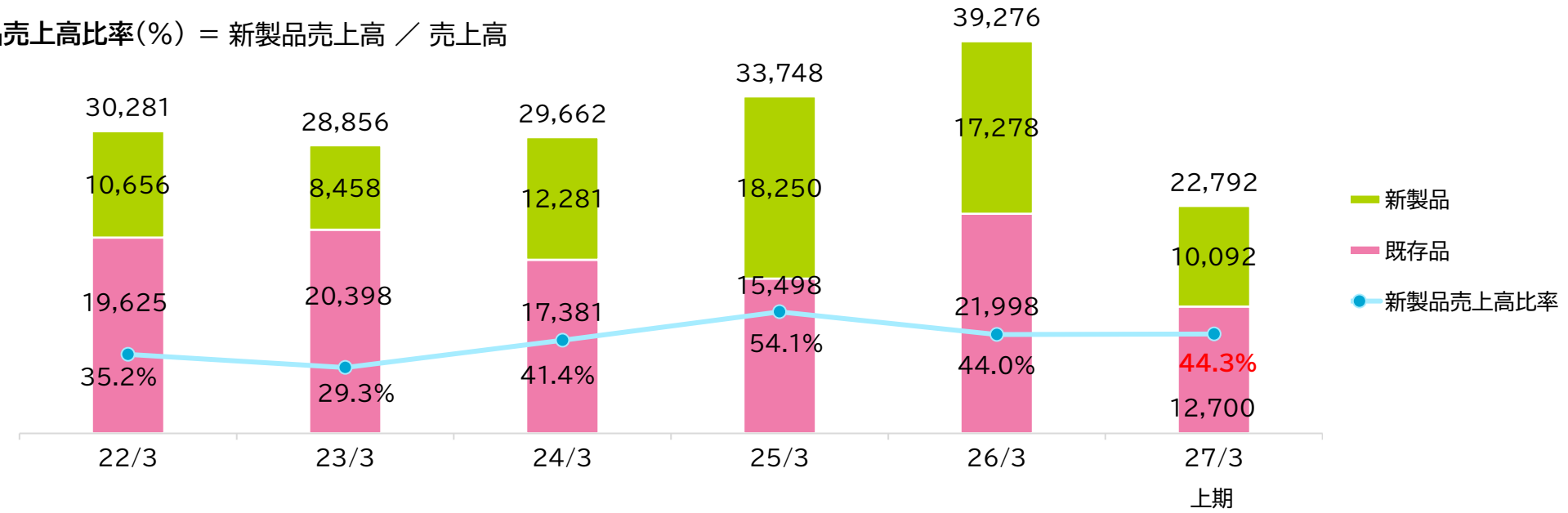
新製品売上高の推移(単体:月次決算ベース)

差異化製品・応用製品＋環境配慮製品の開発により収益力強化

目標値:新製品売上高比率50%以上

売上高(百万円)

新製品売上高比率(%) ＝ 新製品売上高 ／ 売上高



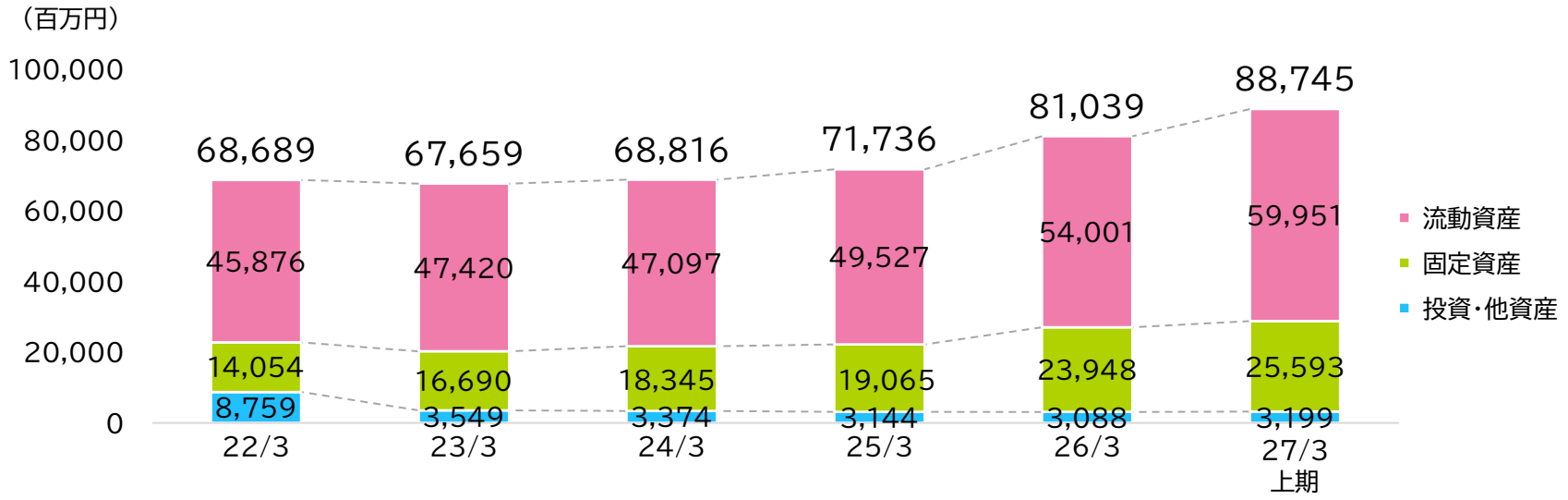
新製品の分類と要件

P(Pure)	新規材料・配合・効果、新規加工方法。特許出願またはそれに相当する内容
T(Technical)	大幅な工程改善・生産性向上、材料・配合の切り替え・改良
S(Sales)	用途展開、モデルチェンジ
E(Eco)	CO2 削減効果のある材料・加工方法の採用や用途、顧客工程でのCO2 削減 …’23年3月期より採用
E-C(E-CO2)	既存品の製造条件の見直しによりエネルギー使用量を削減 …’24年3月期下期より採用

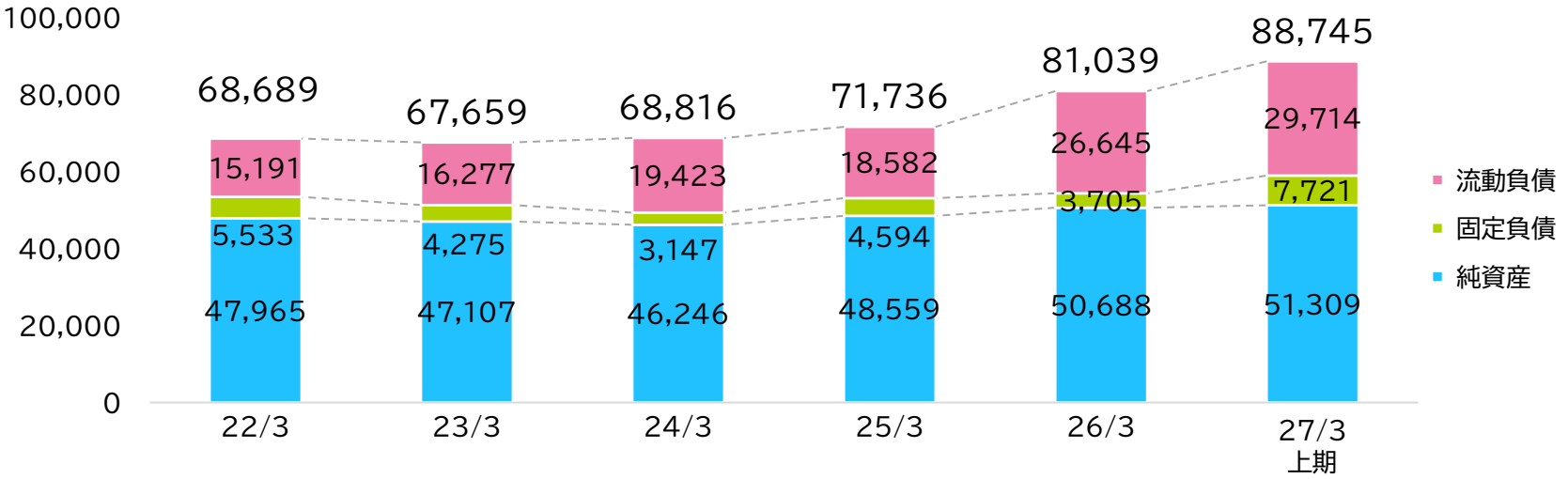
新製品のカウント期間は、発売後3年間。

連結貸借対照表(要旨)の推移

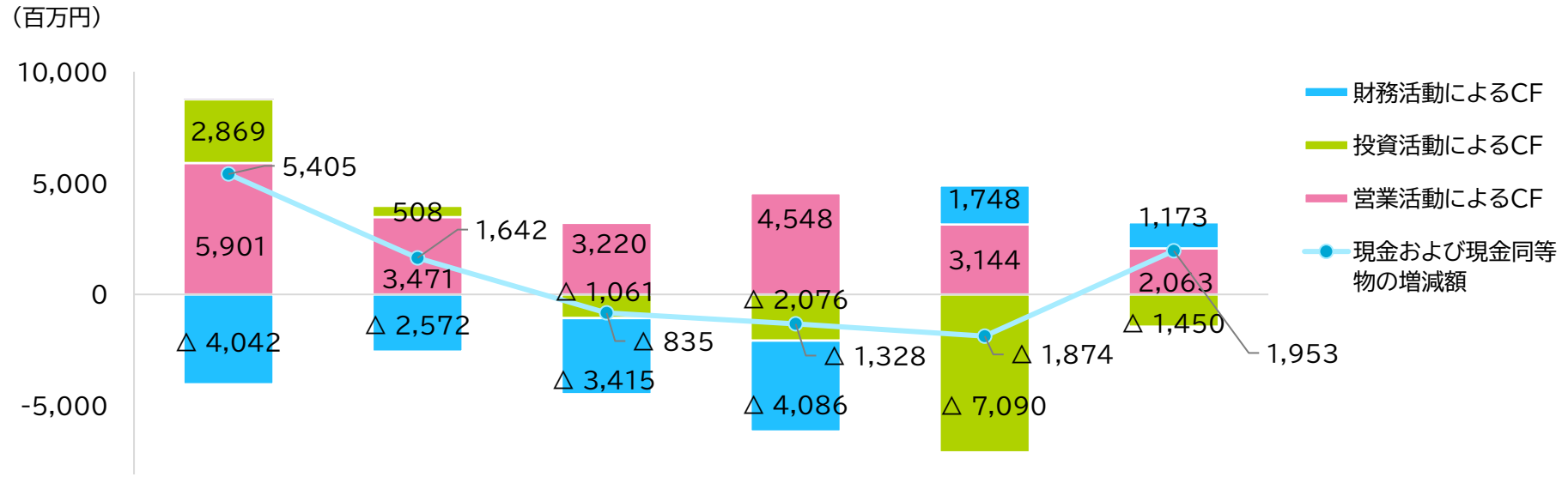
資産の部



負債・純資産の部

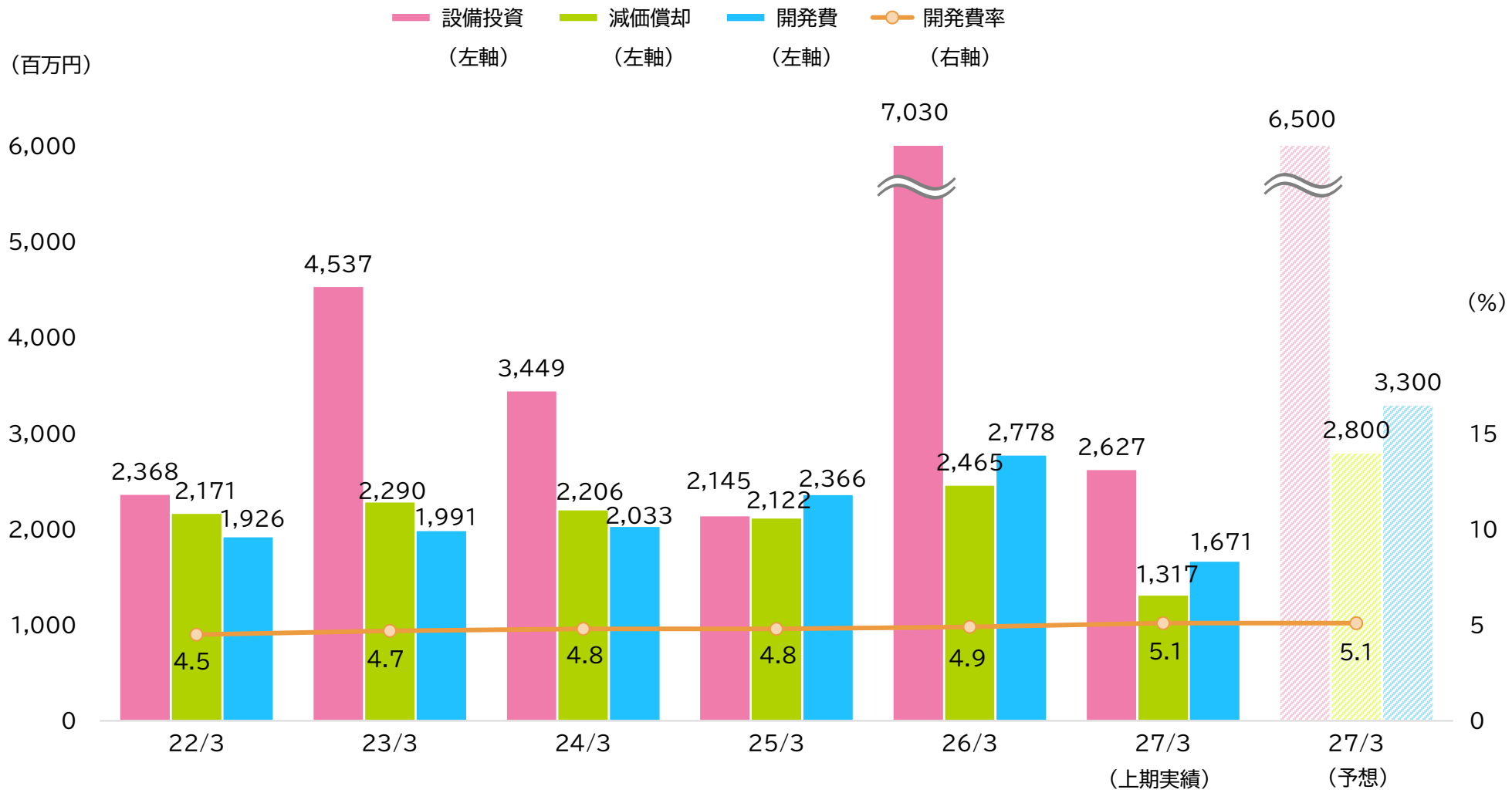


連結キャッシュフローの推移



	22/3	23/3	24/3	25/3	26/3	27/3 上期
営業活動によるCF	5,901	3,471	3,220	4,548	3,144	2,063
法人税等の支払	889	△1,588	△1,016	△559	△1,517	△856
投資活動によるCF	2,869	508	△1,061	△2,076	△7,090	△1,450
有形・無形固定資産の取得による支出	△2,007	△4,375	△3,779	△2,250	△6,914	△1,699
投資有価証券の売却による収入	3,235	6,411	1,087	168	692	–
財務活動によるCF	△4,042	△2,572	△3,415	△4,086	1,748	1,173
配当金の支払	△1,463	△3,000	△3,641	△2,723	△3,258	△2,556
自己株式の取得による支出	△82	△748		△122		
ThinFlexの完全子会社化による支出	△2,439					

設備投資・減価償却費・開発費の推移



本資料は、株式会社有沢製作所（以下当社）による口頭説明によって補完され、かつ、かかる説明との関連性において検討されるべきものです。当社の事前の書面による同意なしに、本資料およびその内容をいかなる目的にも使用することはできなく、また本資料の内容を公表する権利もしくは第三者に開示する権利を付与するものではありません。

本資料に示されている情報は、当社経営陣の予測に基づくもの、あるいは本資料作成時点における実勢および当社の見解に依拠したものであり、予告無しに変更されることがあります。当社は、公の情報源から入手した情報、その他当社の検討した情報が全て正確かつ完全であることを前提に本資料を作成しており、これらの情報について独自の検証は行っておりません。